

第6回「物質と光作用」領域会議 ～研究進捗状況報告～

平成21年5月14日(木)～16日(土)
杉乃井ホテル (大分県別府市観海寺1)

5月14日(木)

- 14:00～14:10 開会の辞 筒井哲夫研究総括
14:10～14:15 確認事項、お知らせ 大田 彰技術参事
14:15～14:45 (2期)伊都将司研究者「光-分子間の力学作用によるナノ化学反応場の創製」
14:45～15:15 (2期)勝藤拓郎研究者「遷移金属酸化物の軌道自由度と光の相互作用」
15:15～15:30 <コーヒーブレイク>
15:30～16:00 (2期)瀬高 渉研究者「分子コンパスの創製と配向制御による光機能発現」
16:00～16:30 (2期)羽曾部卓研究者「超分子集合体に基づく太陽電池の創製」
16:30～17:00 (2期)後藤 敦研究者「光ポンピング法を偏極源とした固体超偏極技術の開発」
17:00～17:30 (3期)宮島顕祐研究者「光を介した量子ドット集合系のホーレント相互作用の制御」
18:30～20:30 <懇親会>第1ラウンド
20:30～ <自由討論>

5月15日(金)

- 09:00～10:00 特別講演 菊池裕嗣アドバイザー (九州大学先導物質化学研究所 教授)
10:00～10:10 <コーヒーブレイク>
10:10～10:15 「革新的次世代デバイスを目指す材料とプロセス」領域紹介 佐藤勝昭研究総括
10:15～10:45 (次世代デバイス)安田 剛研究者「 π 共役高分子鎖内の超高速電荷輸送を利用した有機トランジスタ」
10:45～11:15 (次世代デバイス)寒川義裕研究者「オンチップ光配線用窒化物基板の創製とシステム熱設計支援」
11:15～11:45 (3期)道信剛志研究者「クリック型反応による有機光電子機能材料の創製」
11:45～12:15 (3期)中 暢子研究者「高純度ダイヤモンドの高分解分光と光機能の探索」
12:15～13:15 <昼 食>
13:15～14:15 (1期研究者)ポスター内容紹介 : 一人6分×10名(質疑応答なし)
14:15～16:00 ポスターセッション
16:00～16:30 (3期)竹延大志研究者「有機レーザートランジスタの創製」
16:30～17:00 (3期)関 修平研究者「GHz-サブTHz電磁波が誘起する分子内電荷の運動を利用した電気特性評価技術の開発」
17:00～17:30 (3期)伊藤 肇研究者「発光性メカノクロミックプローブの開発」
17:30～18:00 (3期)楊 成研究者「キラル光化学の励起波長制御」
18:30～20:30 <懇親会>第2ラウンド
20:30～ <自由討論>

【順番】各研究者
立間 徹, 生駒忠昭
岡本晃一, 加藤雄一郎
中山健一, 藤田晃司
増尾貞弘, 矢貝史樹
山田容子, 山本晃司

5月16日(土)

- 09:00～09:30 (3期)池沢道男研究者「単一不純物を利用した光機能性半導体量子素子の創出」
09:30～10:00 (2期)藤原英樹研究者「ランダム構造内の欠陥領域を利用した光局在モード制御」
10:00～10:15 <コーヒーブレイク>
10:15～10:45 (2期)所 裕子研究者「光と磁気・電気の相関による新規相転移現象の創製」
10:45～11:15 (2期)森本正和研究者「光機能性有機強誘電結晶の創製」
11:15～11:45 (2期)大久保貴志研究者「多重機能性混合原子価集積型金属錯体の開発」
11:45～12:15 (2期)飯田琢也研究者「デザインされた光場によるナノ複合体の力学制御」
12:15～12:20 閉会の辞 筒井哲夫研究総括